デジタル版「スゴ技BOOK」 授業プログラム例



- ●目 的 ①愛媛のものづくり企業のスゴ技を知る
 - ②ものづくり企業の幅広さ、多様な働き方・仕事があることを知る
- ●時 間 50分授業のモデル(2コマ授業の場合は1コマ目のモデル)
- ●準備物 タブレット等デバイス、「スゴ技BOOK」ワークシート(以下ワークシート)

タイムライン	・ト等デバイス、「スゴ技BOOK」ワークシート 内容	指導ポイント
1. 導入	・授業の目的の説明。	ものづくりの業界は、様々な業種のなかで
	- 投業の日的の説明。 - ものづくり企業とは何か。	
(5M)		も、生活に欠かせない身近なものから、ス
	様々な <u>業種</u> があることを説明。	ケールの大きなものなど、日本経済を支え
	例:IT・コンピューター、電気機械・繊維・	てきている重要な業界であることを説明。
	金属製品・食料品など	
2. デジタル版「スゴ技	・デジタル版「スゴ技 BOOK」の使い方を説明。	・会社が多数あり、多様な産業があること
BOOK」で、興味ある会社	(デジタルブック使用マニュアルを閲覧)	を知って、興味をもつきっかけとなる。(幅
や仕事を発見する	・ワークシートの①を記入。	を広げる)
(20M)		
	・各自デバイスで、デジタル版「スゴ技 BOOK」を	・ワークシート①で記入したキーワードを
	閲覧し、興味ある会社や仕事、意外な発見があっ	検索すると、該当する企業のページを見る
	た会社等を見つける。	ことができる。
	・ワークシート②を記入。	・興味のあるキーワードが見つからない場
		合でも、閲覧することで興味を発見できる
		こともあるので、まずは閲覧してみるよう
		・答え探しでなく興味の発見なので、「数は
		多くても、少なくても、1つでも大丈夫」と
		伝える。
3. シート②の発見結果	- 見つけた会社、面白いと思ったところ、なぜ面	│ ・お互いの考えを尊重しあう姿勢を大切に
6. プログルル 1 を共有する	白いと思ったかを、ペアもしくはグループで発表	する。
(10M)	しあう。	~ る。 「聞き手は話す相手に興味をもって聞き
(TOW)		
		ましょう」「お互いの興味ポイントを楽し
		みながら話し合いましょう」と伝える。
4. 様々な仕事を知る	・デジタル版「スゴ技 BOOK」の3ページ「ものづ	・製造だけでなく、企画や営業、事務など
(10M)	くりという仕事の流れを見てみよう」を活用し、	幅広い仕事(職種)があることを伝える。
	 ものづくり企業にある様々な仕事(職種)を知る。	・デジタル版「スゴ技BOOK」4、5ページ
	・ワークシート③を記入: 自分ならどんな仕事が	「自分に合う仕事を探してみよう」を活用
	向いていそうか考えてみる。	し、興味診断をすることもできる。
5. まとめ	・ワークシート④を記入:わかったこと・気づき	ものづくり企業(会社や働き方)に関する
(5M)	を記入する。	気づきや、自分(興味・適性)に関する気
	数名発表	づきの記入を促す。

デジタル版「スゴ技BOOK」 授業プログラム例

- ●目 的 将来の職業に関する興味の幅を広げ、これからの進路選択のために自ら「やってみようと 思うこと」を見つける。
- ●時 間 50分授業2コマ目のモデル
- ●準備物 タブレット等デバイス、「スゴ技BOOK」ワークシート(以下ワークシート)

タイムライン	内容	指導ポイント
1. 導入	・前回の振り返り	
(3M)	・授業の目的の説明	
2. 将来のために身に	・ワークシート⑤を記入。	・製造、技術職以外の仕事(職種)が合っ
つける力や学びについて	ワークシート②で発見した企業のページの「この	ている生徒にも、興味を持った企業で事務
考える	仕事に就くために今できること」などを参考に、	職や営業職などに就いたことをイメージ
(10M)	身につけたらよい力や必要な学びについて調べ、	して考えてもらう。
	考える。	※「スゴ技BOOK」126、127ページの
		「『働く人』になるためのアドバイス」も、
		学校生活でできることを考えるヒントに
		なる。
3. これからやってみたい	・ワークシート⑥を記入。	・勉強以外の経験も大切。いろいろな経験
ことを考える・調べる	ワークシート⑤で考えたことについて、学んだ方	が将来に活きることを伝える。
(10M)	がいいことや学び方、身につけたらよい力を育て	※付箋1枚に1つずつ、やってみたいこと
	るために取り組んだ方がいいことについて考え、	をどんどん書いていく方法もある。
	「自分のアイディア」欄に記入する。	
4. ⑤⑥について共有する	・これから何をしていきたいかについて各自が	・発表者が安心して発言できるよう、「聞く
(10M)	考えたことを、ペアもしくはグループで伝えあ	人は応援する気持ちで聞きましょう」と伝
	う。	える。
	ワークシート⑥の「【みんなのアイディア】欄	
	に記入する。	
5. ⑦これからやってみる	ワークシート⑥で出し合ったアイディアを参	
こと3つを決める	考に、これからやってみたいことを3つ決めて、	
(7M)	ワークシート⑦を記入する。	
6. まとめ	・ワークシート⑧を記入。	※後日、3つ選んだ「やってみること」に
(10M)	・2回の授業でわかったことや感想を発表する。	ついてどうなったかフォローアップの場
	・先生からのメッセージ	を設け、生徒同士が励まし合う場をつくる
		と効果的。その際、「やったか、やってない
		か」を問う場でなく、これから頑張る応援
		の場にすると良い。

